

青森県経済統計報告

平成 30 年 12 月 6 日

企画政策部統計分析課

1 青森県の推計人口(平成 30 年 11 月 1 日現在)..... 1

県 人 口 1,262,057 人 (対前月 766 人減少)

自然動態 879 人減少 (出生者数 648 人、死亡者数 1,527 人)
社会動態 113 人増加 (転入者数 1,445 人、転出者数 1,332 人)

2 本県の経済動向 (平成 30 年 9 月・10 月の経済指標を中心として)

(1) 経済概況

本県経済は、緩やかに回復している。

(2) 主要経済指標の動向

- (2-1) 生産動向 ・平成 30 年 9 月の**青森県鉱工業生産指数**(平成 22 年=100)は、季節調整済指数が 105.9 で、前月比 2.3%の低下となり、2 カ月ぶりに前月を下回った。また、原指数は 104.7 で、前年同月比 7.4%の低下となり、2 カ月連続で前年同月を下回った。 ... 2
- (2-2) 雇用労働 ・平成 30 年 9 月の**定期給与**は 222,837 円で前年同月比 2.5%減となった。 ... 3
総実労働時間は 153.1 時間で前年同月比 2.8%減、**所定外労働時間**は 11.2 時間で前年同月比 12.5%減となった。
・平成 30 年 10 月の**有効求人倍率**(季節調整値)は 1.29 倍で、前月を 0.01 ポイント上回った。
- (2-3) 物 価 平成 30 年 10 月の**青森市消費者物価指数**(平成 27 年=100)は、総合指数が 102.6 となり、前月比 0.5%の上昇、前年同月比 2.1%の上昇となった。 ... 5
また、生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は 102.0 となり、前月比 0.4%の上昇、前年同月比 0.4%の上昇となった。
- (2-4) 個人消費 ・平成 30 年 10 月の**百貨店・スーパー販売額**は、全店舗ベースが 133 億 ... 6
円で前年同月比 4.1%減となり、2 カ月ぶりに前年同月を下回った。また、既存店ベースでも前年同月比 4.1%減となり、2 カ月ぶりに前年同月を下回った。
・平成 30 年 10 月の軽乗用車を含めた**乗用車新車登録・届出台数**は 3,684 台で、前年同月比 3.1%増となり、2 カ月ぶりに前年同月を上回った。
・平成 30 年 10 月の**観光入込客数**は、主な観光施設が 882 千人で前年同月比 5.6%減となり、4 カ月連続で前年同月を下回った。また、主な宿泊施設は 167 千人で前年同月比 3.2%増となり、6 カ月ぶりに前年同月を上回った。
- (2-5) 建 設 ・平成 30 年 10 月の**新設住宅着工戸数**は 550 戸で、前年同月比 17.7%減 ... 7
となり、2 カ月連続で前年同月を下回った。
・平成 30 年 10 月の**公共工事請負額**は 130 億 2,400 万円で前年同月比 19.5%減となり、2 カ月連続で前年同月を下回った。
- (2-6) 企業倒産 平成 30 年 10 月の**企業倒産**は、件数は 5 件、負債総額は 11 億 6,700 万円 ... 8
となり、倒産の発生がなかった前年同月と比べ、件数、負債総額ともに大幅増となった。

(3) 景気動向指数 C I (平成 30 年 9 月分) 9

先行指数 119.6 (前月を 2.4 ポイント下回り、2 カ月ぶりに下降した)
一致指数 155.8 (前月を 7.3 ポイント下回り、2 カ月ぶりに下降した)
遅行指数 122.1 (前月を 1.7 ポイント上回り、2 カ月ぶりに上昇した)

1 青森県の推計人口（平成30年11月1日現在）

【概 況】

平成30年11月1日現在の本県推計人口は、1,262,057人で、前月に比べ766人の減少となった。

○自然動態

出生者数が648人、死亡者数が1,527人で、879人の減少となった。

○社会動態

転入者数が1,445人、転出者数が1,332人で、113人の増加となった。

総人口の推移

（単位：人）

	総数	男	女	対前月 増減率	増減数	自然 増減数	出生者数	死亡者数	社会 増減数	県外からの 転入者数	県外への 転出者数
昭 45.10.1	1,427,520	685,477	742,043	-	10,929	-	-	-	-	-	-
50.10.1	1,468,646	707,232	761,414	-	41,126	-	-	-	-	-	-
55.10.1	1,523,907	735,444	788,463	-	55,261	-	-	-	-	-	-
60.10.1	1,524,448	731,439	793,009	-	541	-	-	-	-	-	-
平 2.10.1	1,482,873	704,758	778,115	-	-41,575	-	-	-	-	-	-
7.10.1	1,481,663	704,189	777,474	-	-1,210	-	-	-	-	-	-
12.10.1	1,475,728	702,573	773,155	-	-5,935	-	-	-	-	-	-
17.10.1	1,436,657	679,077	757,580	-	-39,071	-	-	-	-	-	-
22.10.1	1,373,339	646,141	727,198	-	-63,318	-	-	-	-	-	-
27.10.1	1,308,265	614,694	693,571	-	-65,074	-	-	-	-	-	-
29.11.1	1,277,949	600,252	677,697	-0.049%	-632	-790	712	1,502	158	1,455	1,297
29.12.1	1,277,086	599,949	677,137	-0.068%	-863	-793	649	1,442	-70	974	1,044
30. 1. 1	1,276,120	599,503	676,617	-0.076%	-966	-831	674	1,505	-135	943	1,078
30. 2. 1	1,274,940	598,945	675,995	-0.092%	-1,180	-1,062	708	1,770	-118	973	1,091
30. 3. 1	1,273,573	598,360	675,213	-0.107%	-1,367	-940	626	1,566	-427	962	1,389
30. 4. 1	1,266,893	594,944	671,949	-0.525%	-6,680	-1,003	617	1,620	-5,677	3,686	9,363
30. 5. 1	1,266,710	595,090	671,620	-0.014%	-183	-819	586	1,405	636	3,392	2,756
30. 6. 1	1,265,855	594,603	671,252	-0.067%	-855	-811	717	1,528	-44	1,369	1,413
30. 7. 1	1,264,956	594,145	670,811	-0.071%	-899	-737	624	1,361	-162	1,109	1,271
30. 8. 1	1,264,206	593,839	670,367	-0.059%	-750	-732	660	1,392	-18	1,645	1,663
30. 9. 1	1,263,723	593,739	669,984	-0.038%	-483	-719	728	1,447	236	1,840	1,604
30.10.1	1,262,823	593,293	669,530	-0.071%	-900	-709	642	1,351	-191	1,210	1,401
30.11.1	1,262,057	592,950	669,107	-0.061%	-766	-879	648	1,527	113	1,445	1,332

10月中の人口動態の推移

（単位：人）

年月	H20.10	21.10	22.10	23.10	24.10	25.10	26.10	27.10	28.10	29.10	30.10
自然 動態	出生者数	875	789	820	775	814	889	784	707	758	648
	死亡者数	1,315	1,285	1,245	1,393	1,570	1,415	1,505	1,481	1,435	1,527
	自然増減数	-440	-496	-425	-618	-756	-526	-721	-774	-677	-879
社会 動態	県外からの 転入者数	1,738	1,488	1,405	1,479	1,606	1,527	1,427	1,447	1,353	1,445
	県外への 転出者数	1,738	1,563	1,561	1,444	1,524	1,551	1,471	1,475	1,227	1,332
	社会増減数	0	-75	-156	35	82	-24	-44	-28	126	113
増減数計		-440	-571	-581	-583	-674	-550	-765	-802	-551	-766

※1 昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17、22、27年は国勢調査人口（確定値）。

※2 平成27年11月1日以降の人口は、平成27年国勢調査人口（確定値 総務省統計局 平成28年10月26日）を基礎に推計している。

※3 増減数は、昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17、22、27年が各々の前回国勢調査、その他が前月推計人口に対するものである。

※4 算出方法

県の推計人口＝前月の人口＋自然増減数（出生者数－死亡者数）＋社会増減数（県外からの転入者数－県外への転出者数）

2 本県の経済動向

(2) 主要経済指標の動向

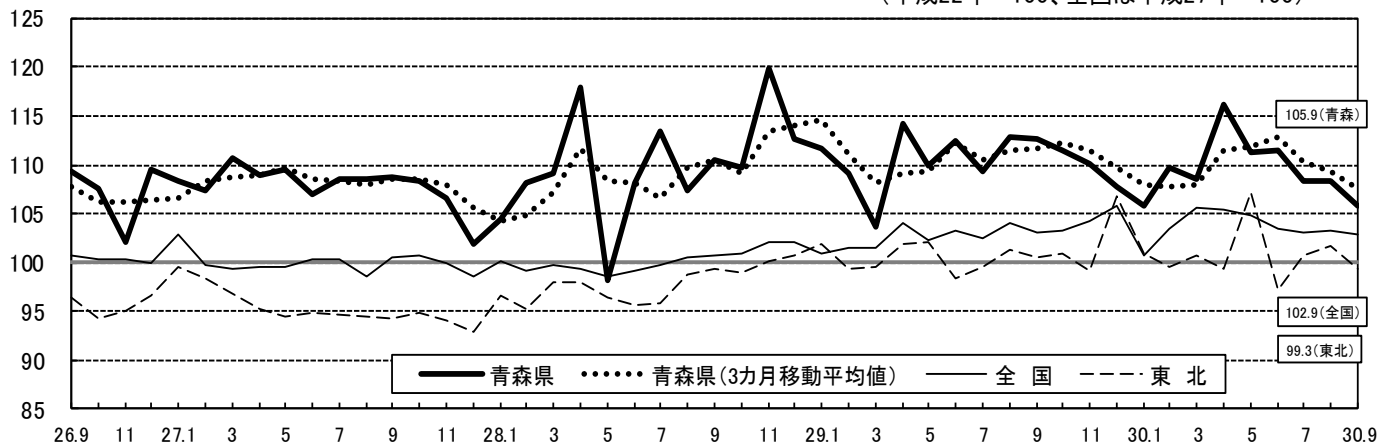
(2-1) 生産動向

平成30年9月の青森県鉱工業生産指数(平成22年=100)は、季節調整済指数が105.9で、前月比2.3%の低下となり、2カ月ぶりに前月を下回った。また、原指数は104.7で、前年同月比7.4%の低下となり、2カ月連続で前年同月を下回った。

季節調整済指数で前月からの動きをみると、化学工業、電気機械工業、鉄鋼業などが上昇に寄与した一方、生産用機械工業、金属製品工業、非鉄金属工業などが低下し、鉱工業全体では2.3%の低下となった。

青森県・全国・東北の鉱工業生産指数推移(季節調整済指数)

(平成22年=100、全国は平成27年=100)

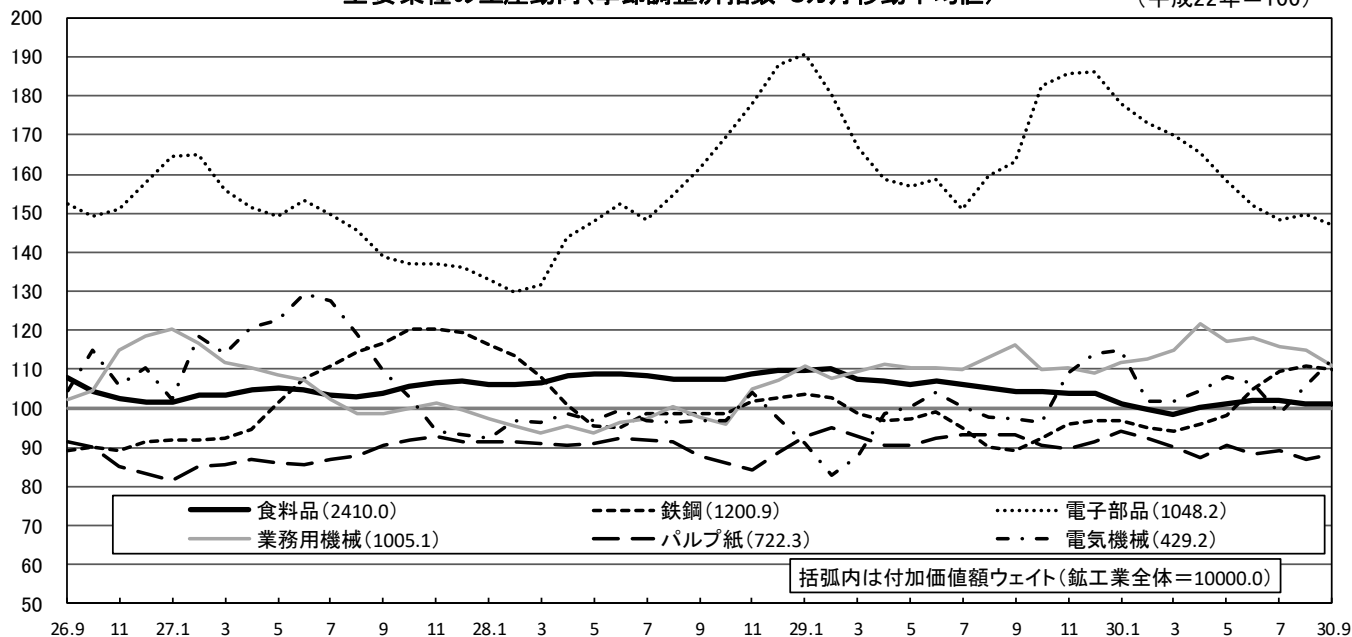


◎業種別動向(前月比) 鉱工業全体 -2.3%

プラス			マイナス		
業種	前月比(%)	寄与率(%)	業種	前月比(%)	寄与率(%)
化学工業	439.3	80.4	生産用機械工業	-43.2	-98.7
電気機械工業	18.2	40.0	金属製品工業	-24.5	-74.0
鉄鋼業	6.6	37.0	非鉄金属工業	-33.6	-54.4
食料品工業	1.0	10.8	電子部品・デバイス工業	-7.4	-53.3
家具工業	30.5	7.0	はん用機械工業	-34.5	-9.7

主要業種の生産動向(季節調整済指数・3カ月移動平均値)

(平成22年=100)



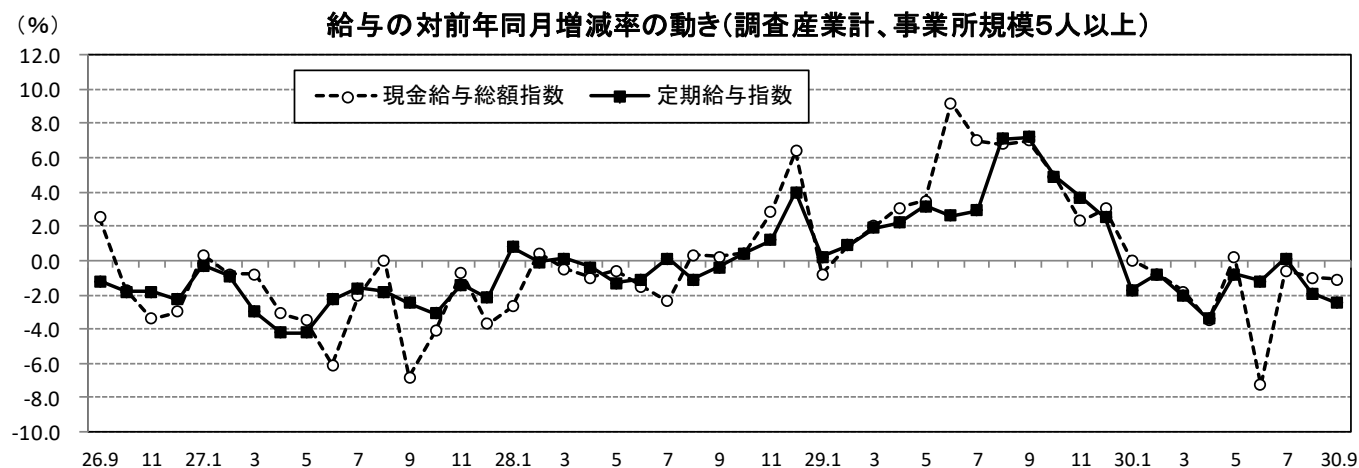
資料：県統計分析課「青森県鉱工業生産指数(速報)」

(2-2) 雇用労働

(2-2-1) 給与・労働時間（毎月勤労統計調査結果）

平成30年9月の定期給与は222,837円で、定期給与指数（平成27年=100）では103.1となり、前年同月比2.5%減と2カ月連続の減（現金給与総額228,024円、現金給与総額指数90.9、前年同月比1.1%減）となった。また、実額で比較した定期給与の全国対比は84.8となった。

総実労働時間は153.1時間で、総実労働時間指数は99.0となり、前年同月比2.8%減と2カ月ぶりの減となった。このうち、所定外労働時間は11.2時間で、所定外労働時間指数は97.4となり、前年同月比12.5%減と8カ月連続の減となった。



資料：県統計分析課「毎月勤労統計調査結果(速報)」

給与及び労働時間の全国との比較(調査産業計、事業所規模5人以上)

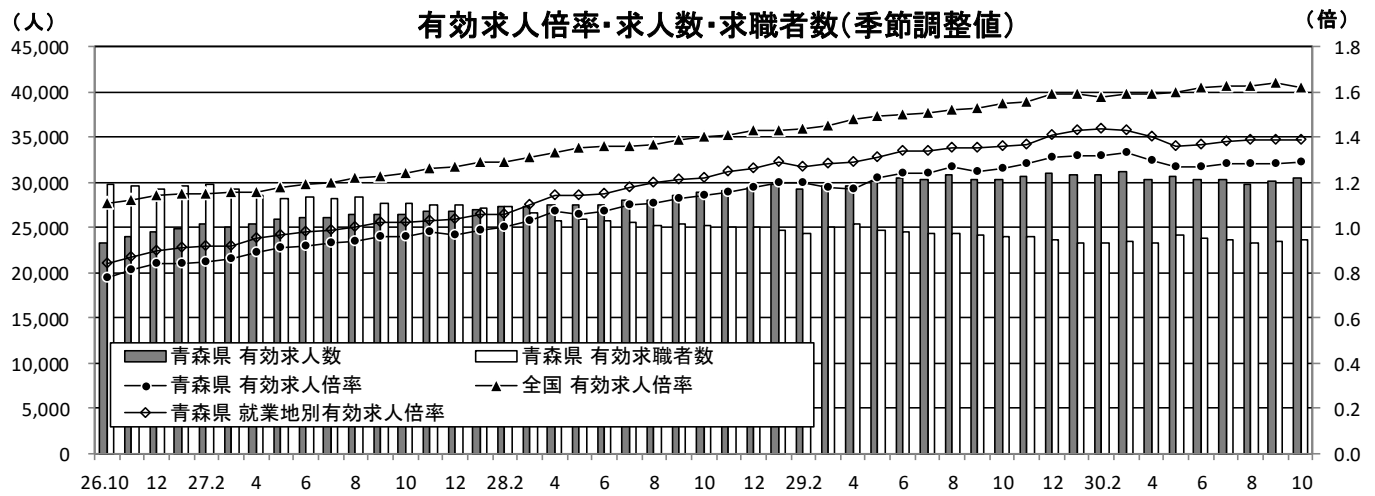
	実 数		指数(H27=100)		対前年同月増減率	
	青森県	全 国	青森県	全 国	青森県	全 国
現金給与総額	228,024 円	269,656 円	90.9	86.0	-1.1 %	0.8 %
定期給与	222,837 円	262,820 円	103.1	101.4	-2.5 %	0.7 %
特別給与	5,187 円	6,836 円	—	—	—	8.3 %
総実労働時間	153.1 時間	139.1 時間	99.0	96.3	-2.8 %	-3.4 %
所定内労働時間	141.9 時間	128.6 時間	99.2	96.3	-2.0 %	-3.4 %
所定外労働時間	11.2 時間	10.5 時間	97.4	95.5	-12.5 %	-3.6 %

- (注) 1. 「定期給与」とは、あらかじめ定められている支給条件、算定方法によって支給される給与のことで、超過労働給与（所定の労働時間をこえる労働、休日労働、深夜労働に対して支給される給与）を含みます。
2. 「特別給与」とは、給与の差額追給額（ベースアップ分）、3か月をこえる期間単位で支給される住宅手当や通勤手当、賞与（ボーナス）等のことです。
3. 「所定内労働時間」とは、正規の始業時刻と終業時刻との間から休憩時間を差し引いた労働時間のことです。
4. 「所定外労働時間」とは、早出、残業、休日出勤等の労働時間のことです。

資料：県統計分析課「毎月勤労統計調査結果(速報)」

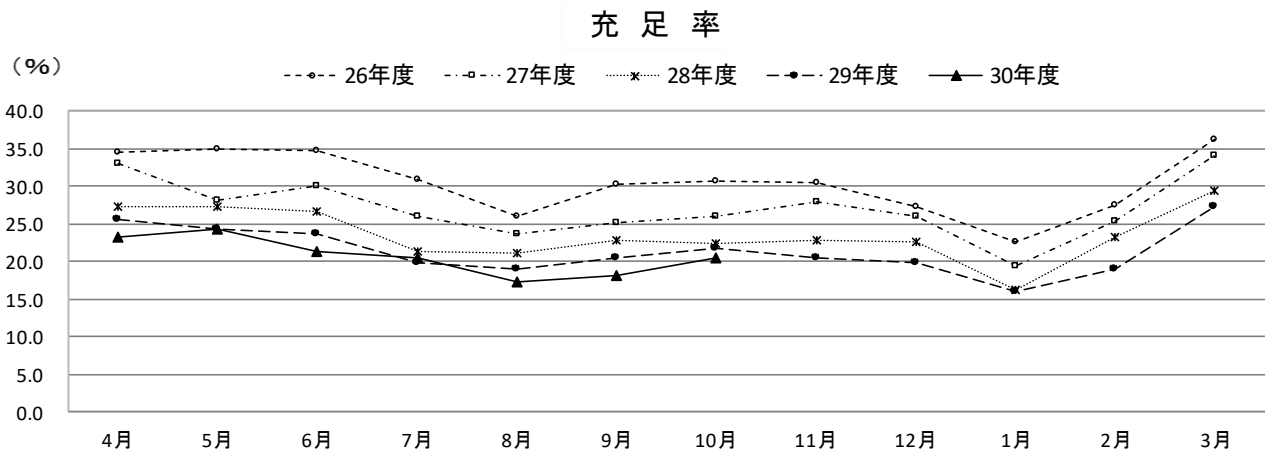
(2-2-2) 有効求人倍率

平成30年10月の有効求人倍率（季節調整値）は1.29倍で、前月を0.01ポイント上回った。就業地別有効求人倍率は1.39倍で、前月及び前々月と同水準となった。



(参考) 充足率（新規学卒者を除きパートタイムを含む）

平成30年10月の充足率は20.4%で、前年同月と比べ1.4ポイント下回った。



(2-3) 物価

平成 30 年 10 月の青森市消費者物価指数 (平成 27 年=100) は、総合指数が 102.6 となり、前月と比べ 0.5% の上昇、前年同月と比べ 2.1% の上昇となった。

生鮮食品を除く総合指数は 102.9 となり、前月と比べ 0.6% の上昇、前年同月と比べ 1.7% の上昇となった。

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は 102.0 となり、前月と比べ 0.4% の上昇、前年同月と比べ 0.4% の上昇となった。

総合指数が前月と比べ 0.5% の上昇となった内訳を寄与度でみると、光熱・水道 (他の光熱など)、交通・通信 (自動車等関係費など) などの上昇が要因となっている。

総合指数が前年同月と比べ 2.1% の上昇となった内訳を寄与度でみると、光熱・水道 (他の光熱など)、食料 (生鮮野菜など) などの上昇が要因となっている。

図1 総合指数の動き

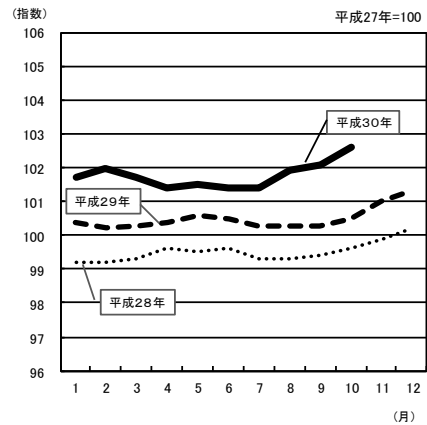


図2 生鮮食品を除く総合指数の動き

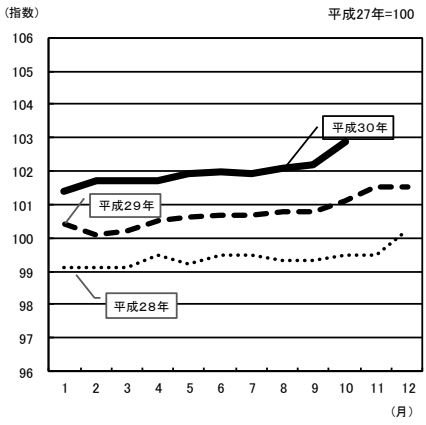
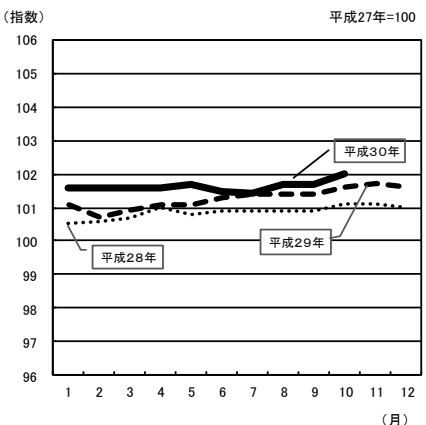


図3 生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数の動き



10大費目指数の動き

(平成27年=100)

	総合	生鮮食品を除く総合	生鮮食品及びエネルギーを除く総合	食料 (酒類を除く) 及びエネルギーを除く総合	食料	生鮮食品	住居	光熱・水道	家・具・用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
当月指数	102.6	102.9	102.0	100.8	104.4	97.0	99.9	105.5	100.6	102.8	103.4	100.4	102.7	103.3	103.1
前月比 (%)	0.5	0.6	0.4	0.3	0.1	▲ 1.9	0.0	1.9	1.9	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	1.0
寄与度	—	0.62	0.30	0.21	0.02	▲ 0.09	0.00	0.22	0.08	0.03	0.00	0.13	0.00	0.00	0.06
前年同月比 (%)	2.1	1.7	0.4	0.0	2.7	11.7	0.0	8.3	▲ 0.3	1.7	1.2	2.6	0.2	▲ 0.1	1.2
寄与度	—	1.64	0.32	0.03	0.75	0.48	0.00	0.89	▲ 0.01	0.05	0.05	0.33	0.01	▲ 0.01	0.07

資料: 県統計分析課「消費者物価指数 月報」

※ **寄与度**とは、ある費目の指数の変動が、総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示したものであり、全費目の寄与度を合計すると、原則として、総合指数の前月比及び前年同月比 (%) の値に一致する。

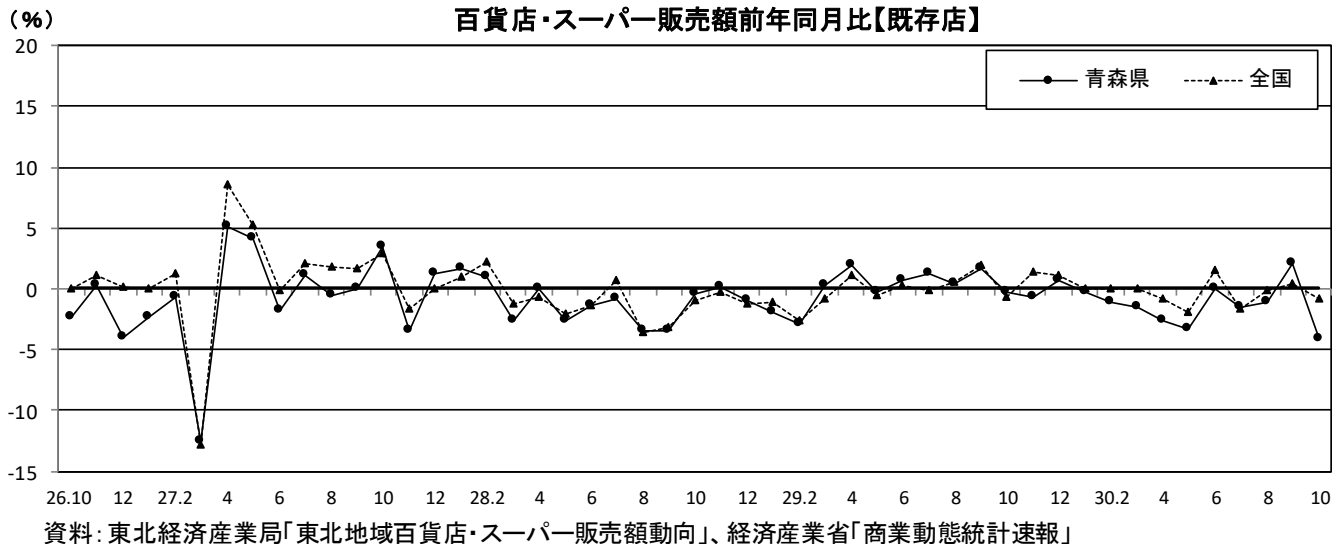
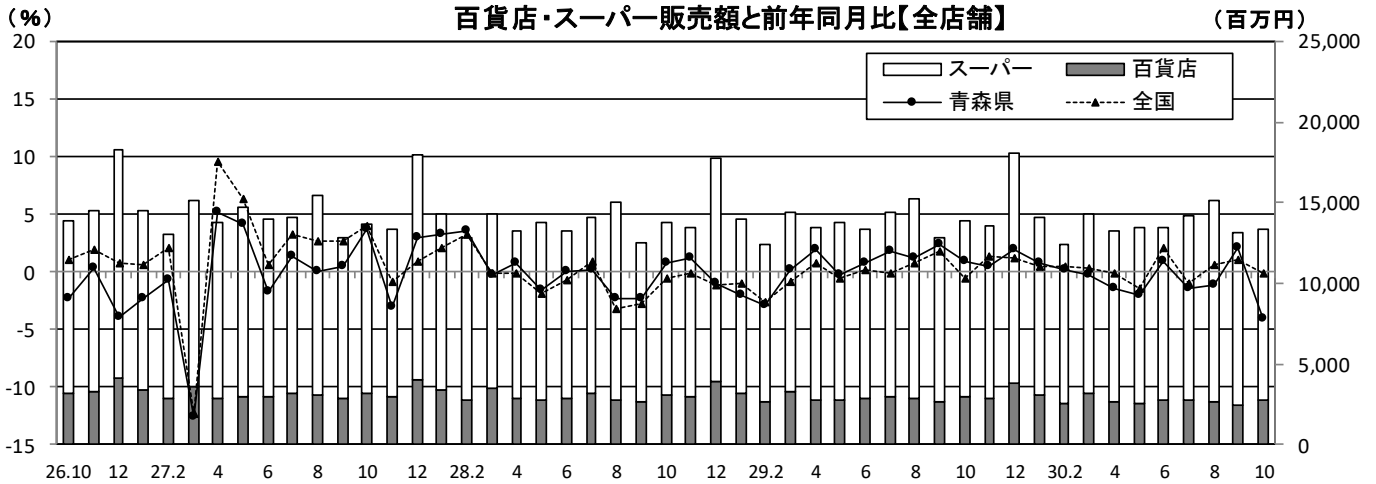
前月比、前年同月比及び寄与度は、端数処理前の指数値を用いて計算しているため、公表された指数値を用いて計算した値とは一致しない場合がある。

本資料は総務省統計局「小売物価統計調査」の調査票情報を独自集計したものである。

(2-4) 個人消費

(2-4-1) 百貨店・スーパー販売額

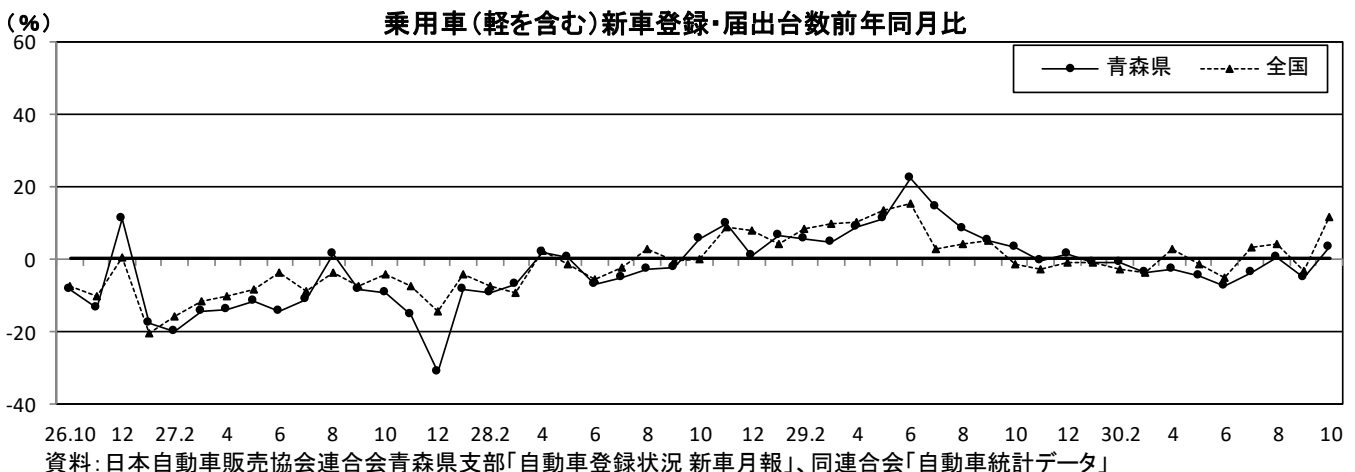
平成30年10月の百貨店・スーパー販売額は、全店舗ベースが133億円で前年同月比4.1%減となり、2カ月ぶりに前年同月を下回った。また、既存店ベースでも前年同月比4.1%減となり、2カ月ぶりに前年同月を下回った。



* 大型小売店は従業員が50人以上で売場面積が1,500平方メートル以上の商店をいう。
そのうち、既存店とは、当月及び前年同月とも調査の対象となっている商店をいう。

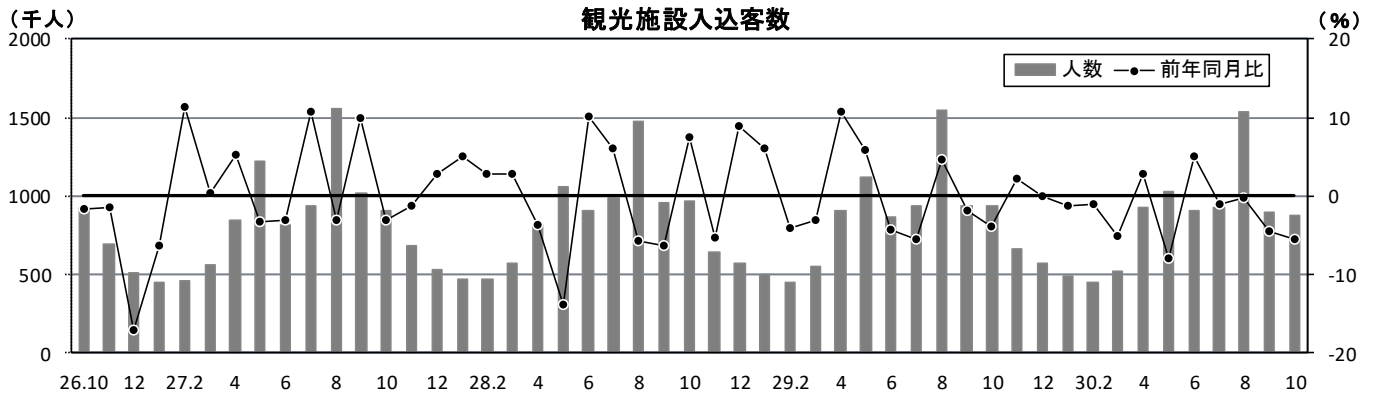
(2-4-2) 乗用車新車登録・届出台数

平成30年10月の軽乗用車を含めた乗用車新車登録・届出台数は3,684台で、前年同月比3.1%増となり、2カ月ぶりに前年同月を上回った。普通乗用車及び小型乗用車が増加したことによる。

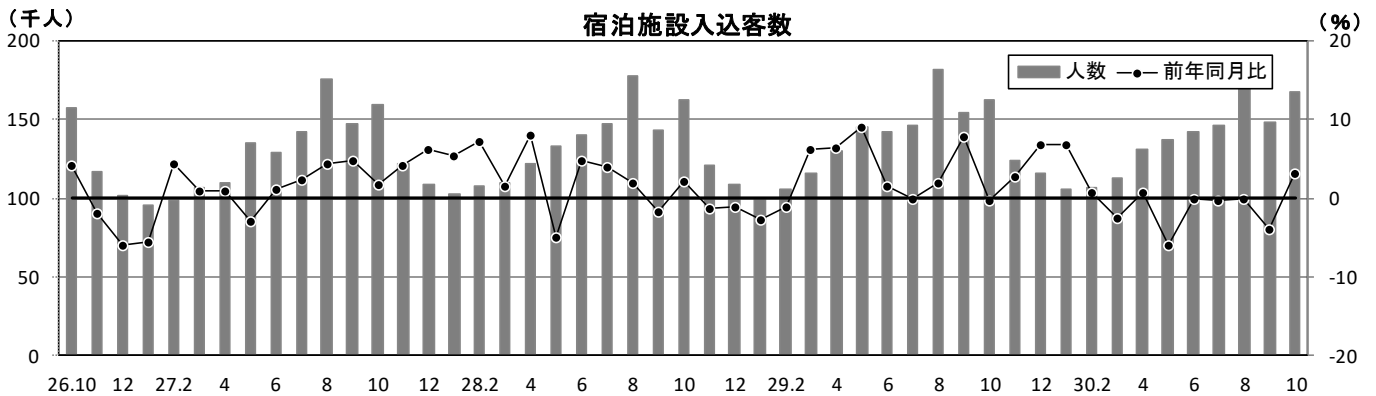


(2-4-3) 観光入込客数

平成30年10月の観光入込客数は、主な観光施設が882千人で前年同月比5.6%減となり、4カ月連続で前年同月を下回った。また、主な宿泊施設は167千人で前年同月比3.2%増となり、6カ月ぶりに前年同月を上回った。観光施設は弘前市、八戸市等の施設で減少し、宿泊施設は青森市、八戸市等の施設で増加したことによる。



資料：県観光企画課「月例観光統計」※観光施設34施設 (H24年1月～H26年3月は35施設、H26年4月以降は34施設対比)

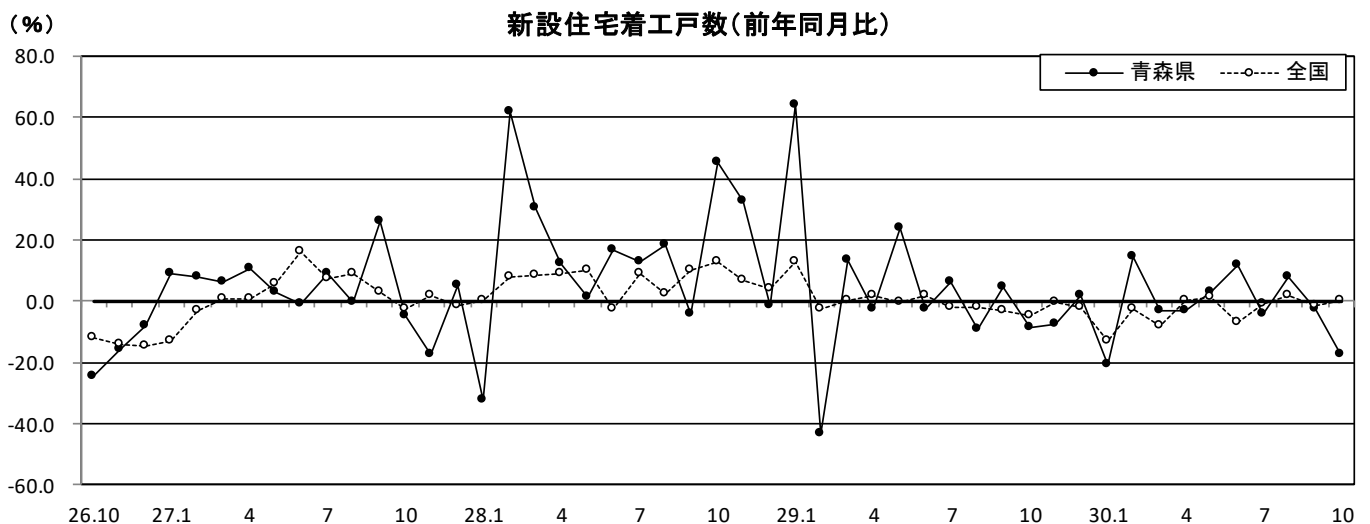


資料：県観光企画課「月例観光統計」※宿泊施設56施設 (H24年12月～H26年3月は57施設、H26年4～12月は56施設、H27年1～12月は55施設、H28年1月以降は56施設対比)

(2-5) 建設

(2-5-1) 住宅建設

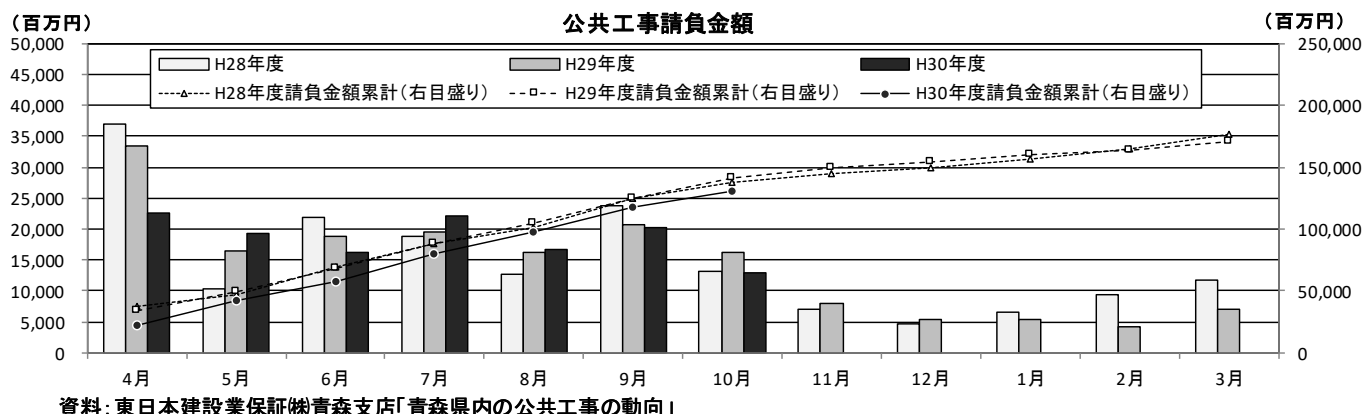
平成30年10月の新設住宅着工戸数は550戸で前年同月比17.7%減となり、2カ月連続で前年同月を下回った。貸家等が減少したことによる。



資料：県建築住宅課「建築着工統計」、国土交通省「建築着工統計調査報告」

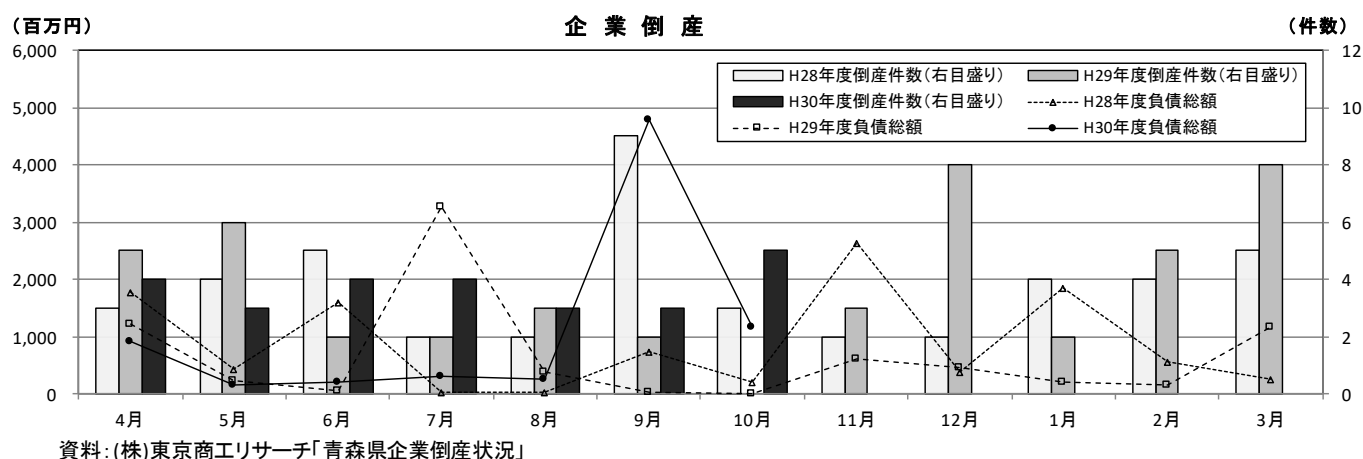
(2-5-2) 公共事業

平成30年10月の公共工事請負金額は130億2,400万円で前年同月比19.5%減となり、国、市町村などの減少により2カ月連続で前年同月を下回った。また、平成30年10月までの累計金額は1,303億1,800万円で前年同期比7.7%減となった。



(2-6) 企業倒産

平成30年10月の企業倒産は、件数は5件、負債総額は11億6,700万円となり、倒産の発生がなかった前年同月と比べ、件数、負債総額ともに大幅増となった。また、平成30年10月までの累計倒産件数は26件で前年同期比30.0%の増、負債総額は77億8,300万円で前年同期比50.0%の増となった。



(3) 青森県景気動向指数

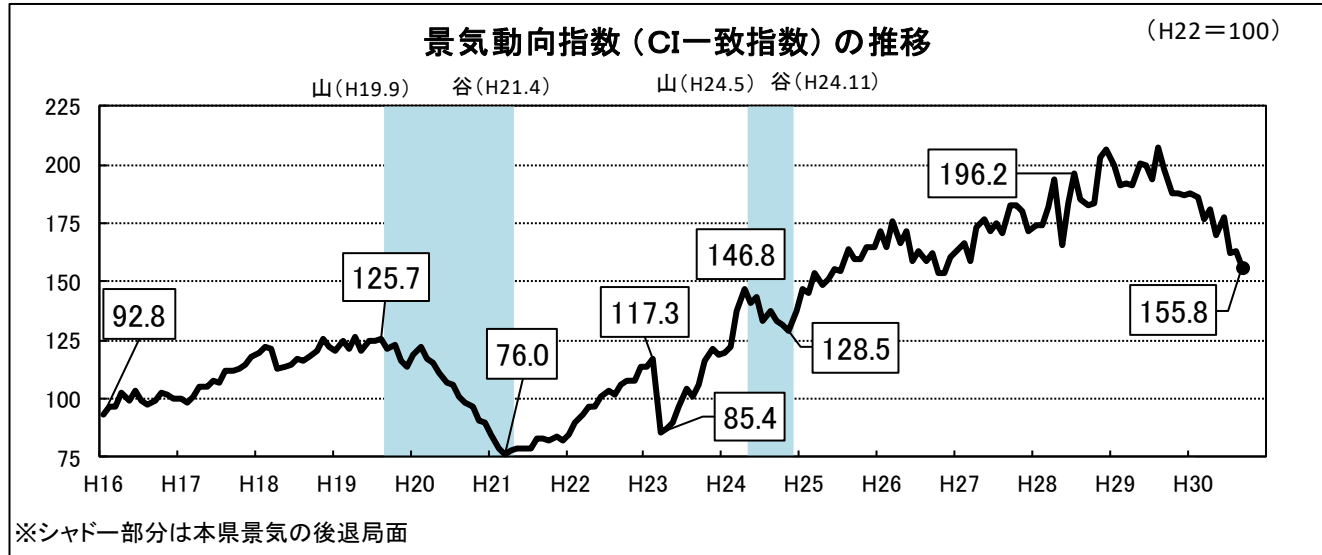
平成30年9月の青森県景気動向指数（C I）は、先行指数 119.6、一致指数 155.8、遅行指数 122.1 となった。

先行指数は、前月を 2.4 ポイント下回り、2 カ月ぶりに下降した。

一致指数は、前月を 7.3 ポイント下回り、2 カ月ぶりに下降した。

遅行指数は、前月を 1.7 ポイント上回り、2 カ月ぶりに上昇した。

9 月の一致指数は生産・雇用関連の指数がマイナスになったことから下降した。



●個別系列の動き（各指標は季節調整等を行い、寄与度を前月と比較しています）

● 個別系列の寄与度と寄与指標は、前年同月と前年同月を比較して算出。寄与度と前年同月と比較して算出。

寄与度がプラスの指標			寄与度がマイナスの指標		
先行系列					
建築着工床面積	4.87	3カ月連続	新規求人倍率（全数）	-4.30	2カ月ぶり
企業倒産件数（逆サイクル）	3.96	4カ月ぶり	生産財生産指数	-2.17	2カ月連続
			中小企業景況DI	-1.71	2カ月連続
			乗用車新車登録届出数	-1.43	3カ月ぶり
			日経商品指数（42種）	-1.09	5カ月連続
			新設住宅着工床面積	-0.42	2カ月ぶり
一致系列					
百貨店・スーパー販売額（既存店）	1.83	2カ月連続	投資財生産指数	-3.49	2カ月ぶり
輸入通関実績（八戸港）	0.11	3カ月ぶり	有効求人倍率（全数）	-2.03	2カ月連続
			旅行取扱高	-1.43	3カ月連続
			所定外労働時間指数（全産業）	-1.24	2カ月ぶり
			鉱工業生産指数	-1.15	2カ月ぶり
遅行系列					
りんご消費地市場価格	3.46	2カ月ぶり	常用雇用指数（全産業）	-2.60	4カ月ぶり
青森市消費者物価指数（総合）	0.58	3カ月連続	有効求職者数（全数）	-0.29	2カ月ぶり
家計消費支出（勤労者世帯：実質）	0.40	3カ月ぶり	公共工事請負金額	-0.16	2カ月連続
県内金融機関貸出残高	0.37	2カ月連続			

(参考) 青森県景気動向指数（D I）

先行指数	37.5%	（3 カ月連続で50%を下回った）
一致指数	42.9%	（2 カ月ぶりに50%を下回った）
遅行指数	57.1%	（5 カ月連続で50%を上回った）